

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第10期第3四半期(平成26年4月1日~平成26年12月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

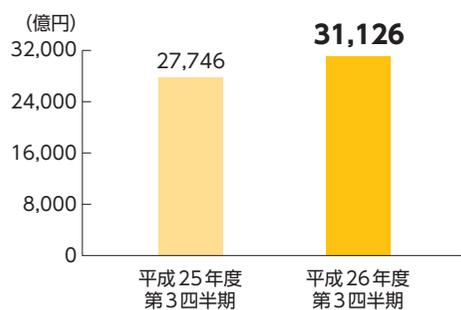
証券コード：8306

平成26年度第3四半期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結第3四半期純利益(平成26年4月～12月)は、期初通期業績目標9,500億円対比97.5%の進捗となる9,269億円
- 貸出金は、平成26年9月末比5.2兆円増加、預金は、4.4兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、10.68%

連結業務粗利益



連結業務粗利益は、アユタヤ銀行の連結化や為替の影響もあり、前年同期比3,379億円増加しました。資金利益は、国内では減少しましたが、海外で増加し、全体で1,947億円増加しました。役員取引等利益は、国内および海外で増加しました。また、市場性商品の取引が好調に推移し、特定取引利益・その他業務利益も増加しました。

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額(△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益(△)	
連結四半期純利益	

(単位:億円)

平成25年度第3四半期 (平成25年4月～12月)	平成26年度第3四半期 (平成26年4月～12月)
27,746	31,126
13,939	15,887
9,218	10,140
4,588	5,098
1,247	1,298
16,860	18,942
10,886	12,183
407	309
627	789
865	1,615
△ 190	△ 54
12,596	14,843
△ 275	△ 735
△ 3,277	△ 3,832
1,189	1,005
7,854	9,269

営業費

アユタヤ銀行の連結化や円安の影響、海外業務拡大に伴う費用の増加により、前年同期比2,082億円増加しました。

与信関係費用総額*

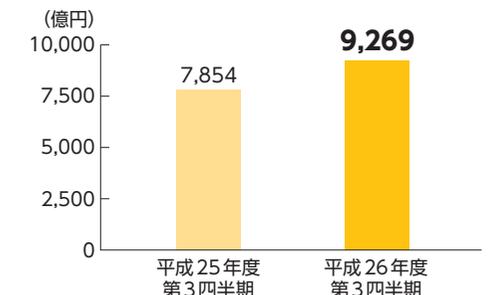
貸出先の信用力の改善を主因に、309億円の戻り益を計上しました。

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関連費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

株式等関係損益

株式等売却益の増加や、株式等償却の減少により、前年同期比162億円増加しました。

連結第3四半期純利益

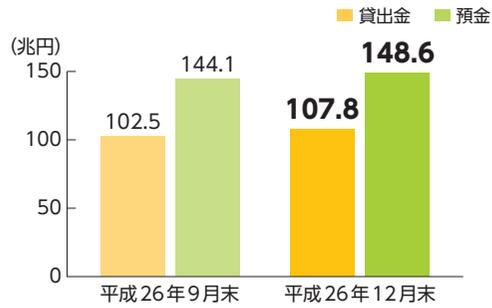


持分法による投資損益は、モルガン・スタンレーの業績改善を主因に前年同期比750億円増加しました。また、特別損益は、過去のイラン関連の決済取引に関する米国当局との和解金の支払い370億円などにより460億円悪化しました。連結第3四半期純利益は、1,415億円増加し、9,269億円となりました。

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

平成26年度第3四半期の業績

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人向貸出や海外貸出の増加に加え、為替の影響もあり平成26年9月末比5.2兆円増加しました。預金残高は、国内個人預金や海外預金の増加のほか、為替の影響により、4.4兆円増加しました。

資産・負債の状況(連結)

項目	平成26年9月末	平成26年12月末
資産の部合計	2,644,581	2,791,782
貸出金(銀行勘定)	1,025,710	1,078,486
有価証券	731,793	736,383
うち国債*	389,478	373,233
負債の部合計	2,491,151	2,628,609
預金	1,441,358	1,486,160
純資産の部合計	153,430	163,172

* 「その他有価証券」に含まれるもの

不良債権の状況

項目	平成26年9月末	平成26年12月末
不良債権(金融再生法開示債権)	12,099	11,730
不良債権比率	1.18%	1.10%

有価証券評価損益の状況(連結)

項目	平成26年9月末	平成26年12月末
その他有価証券評価損益	27,516	34,877

自己資本の状況(連結)

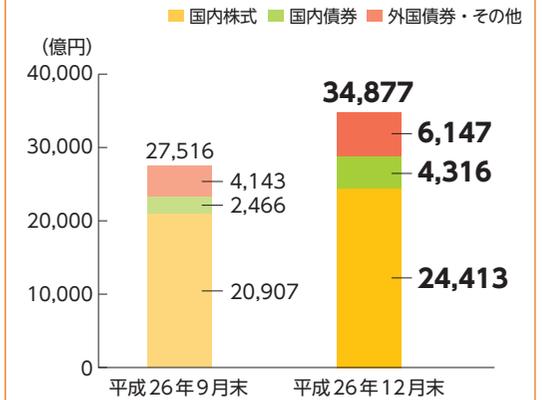
項目	平成26年9月末	平成26年12月末
普通株式等Tier1比率	10.91%	10.68%
Tier1比率	12.15%	12.03%
総自己資本比率	15.31%	15.21%
リスク・アセット	1,047,400	1,109,739

(単位：億円)

国債

国債の保有残高は、平成26年9月末比1.6兆円減少し、37.3兆円となりました。今後も、国債の安定保有を原則としつつ適切に管理を行っていきます。

有価証券の含み損益



国内株式の評価損益は、株式相場の上昇により、平成26年9月末比3,506億円増加しました。また、市場金利の低下により、国内債券および外国債券の評価損益も増加しました。

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.10%と、平成26年9月末比0.08ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は10.68%と、十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

2015年1月、三菱東京UFJ銀行のバンコック支店と、同行が2013年に連結子会社化したタイのアユタヤ銀行が統合しました。現在、アユタヤ銀行の現地呼称Krungsri(クルンシイ)の名のもと、一体となって業務を行っています。ここでは、MUFGのタイにおける今後の戦略や、具体的な取り組みについて紹介します。

Q. 今後のタイにおける戦略を教えてください。

A. 日本およびタイのお客さまにより幅広い金融サービスを提供していきます。例えば、タイで事業展開を行う日本企業のお客さまには、アユタヤ銀行のタイ国内の広範なネットワークを活用した決済サービスなどを提供していくほか、従業員の方々にも、預金や送金などのサービスを提供していきます。また、タイの企業のお客さまには、三菱東京UFJ銀行が有するグローバルネットワークを活用した外国為替や貿易金融、海外事業展開サポートなどのサービスを提供していきます。

タイは、一時期は政治的混乱もありましたが、高い経済成長が期待される東南アジア経済圏の中核国として、注目されています。MUFGは、この統合を通じて、タイならびに東南アジア経済に一層貢献するとともに、アジアを代表する金融機関への成長を目指していきます。



アユタヤ銀行の概要(2014年12月末時点)	
設立	1945年
本店	タイ・バンコック
従業員数	約2万人
拠点数	タイ国内：609拠点 国外：4拠点
貸出/預金	37,168億円/30,738億円
総資産	44,563億円
純利益	520億円(2014年12月期)

*タイバーツ=3.67円として換算

Q. 具体的な取り組みについて教えてください。

A. 1. 法人のお客さま向け商談会

2014年9月、三菱東京UFJ銀行はアユタヤ銀行と共同で、バンコックにおいて商談会を開催しました。この商談会には、タイで商品やサービスを販売したいと考える日本企業のお客さまや、タイから原材料等を調達したいと考えるお客さま、約50社がバンコックを訪れ、タイ企業のお客さま約80社との商談を行いました。

共同開催としたことで、海外での商談会では過去最高となる250件の商談が行われました。また、両行の行員が事前にお客さまの具体的なニーズをお聞きした上で、商談をセットするなどの工夫により、参加したお客さまからは、「多くの企業とスムーズな商談ができ、有意義だった」との言葉をいただきました。今後も、お客さまのビジネス機会の創出をサポートするため、このような商談会を開催していきます。



レセプションパーティーでスピーチする
Krungsri後藤CEO



商談会の様子

A. 2. 海外口座ご紹介サービス「クルンシイ・タイ・ベネフィットパッケージ」

三菱東京UFJ銀行は、アユタヤ銀行の口座開設を日本でお申し込みできるサービスを提供しています*。日本語で口座開設手続きのサポートが受けられる点や、現地での生活に必要な資金を事前に送金できるといった点が便利で、タイに赴任されるお客さまを中心に幅広くご利用いただいています。

三菱東京UFJ銀行のホームページまたは専用コールセンターより申込書をお取り寄せの上、郵送でお申し込みいただけます。

*ご利用には、タイに在住予定の日本居住者であることなど、一定の要件があります。

三菱東京UFJ銀行 専用コールセンター

 0120-786-125 (受付時間：月～金 午前9時～午後7時) ※日本の祝日は除く

1 「住宅ローン事前審査申込システム」がスタート

三菱東京UFJ銀行と東急リバブル、凸版印刷とで試行運用していたタブレット端末による住宅ローン事前審査申込システムが、平成27年1月以降、本格スタートします。

このシステムは、書面の提出無く専用のソフトを導入したタブレット端末から、複数の金融機関に同時に住宅ローンの事前審査を申し込めるものです。紙での事前審査申込に比べ、お客さまの負担の軽減や、審査時間の短縮、セキュリティの強化が可能となります。

これまで、一部の東急リバブル店舗と三菱東京UFJ銀行で運用していましたが、三菱UFJ信託銀行*、三井住友信託銀行、ソニー銀行へも事前審査の申込ができるようになりました。東急リバブルの取扱店舗も、平成27年度中に、全国の東急リバブルのリテール売買仲介店舗に導入される予定です。

運用に関するお問い合わせ
 東急リバブル株式会社
 経営管理本部
 経営企画部広報課
03-3463-3607
 (受付時間：平日 午前9:30
 ~午後6:00)

*当初の取扱いは、一部の店舗に限られます。

2 三菱UFJ投信および国際投信投資顧問、合併を発表

MUFGでは、資産運用ビジネスの強化のため、グループの資産運用会社である三菱UFJ投信および国際投信投資顧問の合併を平成27年7月1日を目処に行うことを発表しました。

「貯蓄から投資へ」の流れを受けて投信市場の規模拡大が期待されるなか、資産運用会社にはさらなる運用力の強化に加え、受託者責任をはじめとした運用者としての質的な向上が強く求められています。これらの環境変化に柔軟に対応するため、両社の合併を行うこととしたものです。

合併後の新会社は、両社が培ってきたノウハウを結集し、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう商品の品揃えの拡充を行うとともに、利便性の向上に努め、サービスの充実を図っていきます。なお、現在両社が提供している資産運用サービスは合併後の新会社が引き継ぎます。



3 三菱東京UFJ銀行、南米において業務提携先を拡大

三菱東京UFJ銀行は、ブラジルとチリにおいて、政府系機関との間で新たな業務提携を行いました。ブラジルでは、ブラジル三菱東京UFJ銀行と政府系金融機関「ブラジル国立経済社会開発銀行」との間で、金融分野での相互支援を目的とした業務提携を行いました。また、チリでは、チリ外国投資委員会との間で、チリへの投資促進に向けた業務提携を行いました。

ブラジルは、約2億人の人口と世界第7位の経済規模を有しており、今後も中長期的な経済成長が期待されています。チリは、銅などの鉱物資源が豊富なほか、農林業や水産養殖業も盛んで、多くの日本の企業が進出しています。

今後は、これらの提携を活用し、お客さまに、一層充実したサポートを提供していきます。



中南米における三菱東京UFJ銀行の拠点

4 インターネットバンキングのセキュリティ強化

三菱東京UFJ銀行および三菱UFJ信託銀行は、個人向けインターネットバンキングでの第三者による不正送金に対するセキュリティ強化のため、「ワンタイムパスワードカード」の取扱いを開始しました*。これは、ボタンを押すと振込みの際などに必要な「パスワード」が電子表示されるカードです。表示されるパスワードは、1回限り有効のワンタイムパスワードなので、従来のカードに記載された乱数表の利用よりも、不正送金に遭うリスクが軽減されます。初回発行手数料や利用料はかからず、各行のインターネットバンキングから、お申し込みいただけます。



© FNB Co., 2015

*三菱東京UFJ銀行は平成27年3月15日より取扱い開始。

MUFGは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、東日本大震災からの復興への取り組みや、アユタヤ銀行の社会貢献活動などを紹介します。

東日本大震災からの復興への取り組み

奨学金プログラム*

*奨学生の募集は、平成26年4月に小学校に入学した児童をもって終了しました。

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」では、東日本大震災により親を亡くされた小・中学生、高校生を対象とし、高校卒業までの期間奨学金を給付しています。これまで1,400名以上の奨学生が給付を受けました。

奨学生からのお便り

現在小学5年生の奨学生から、メッセージをいただきました。

わたしは、みなさんのおかげで小さいときからなっているピアノ教室にかよっています。

しんさいでお母さんがしょくばでひさいし、お父さんだけになったのでピアノ教室にかよえないと思ったのですが、みなさんのサポートでこうやってかようことができほんとうにうれしいです。この気持ちをわすれずいっしょうけんめいがんばりたいとおもいます。

漁業復興支援ボランティア

平成26年11月、三菱UFJニコスの従業員が宮城県南三陸町の被災した養殖漁業者の方を訪れ、ホタテの稚貝をロープにつるす「耳吊り」や漁網の補修、ブイの清掃作業などを手伝いました。養殖漁業者の方からは、「忙しい時期に手伝ってくれてありがとう。」と感謝の言葉をいただきました。



アユタヤ銀行の社会貢献活動

アユタヤ銀行は、平成26年8月から11月にかけて“Branches Unite for the Greater Good”^{*}と銘打ってタイ全国で社会貢献活動を実施しました。約6,000人の従業員が参加し、健康や教育、環境保全、経済的に恵まれない人々への支援といった分野で38の活動を行いました。

例えば、貧しい地域の小学校20校を訪れ、奨学金の寄付など金銭的な支援のほか、教室の改築や図書の寄贈を行いました。また、環境保全のため、森に防砂堰堤^{えんてい}を4つ建設したほか、マングローブ350本の植樹を行いました。そのほか、障がいのある人々や経済的に恵まれない人々のための施設を訪問し、食事を提供したり、寄付を行いました。

同行は、持続可能な社会の実現に向けて、今後も積極的に社会貢献活動を行っていきます。

^{*}「より大きな社会的利益のために全拠点力が合わせる」という意味があります。



アジア・太平洋地域の次世代担い手研修

MUFGは、公益財団法人オイスカ^{*}と共同で、アジア・太平洋地域の若者を対象に、有機農法の技術や農業経営を1年かけて学んでもらう研修を行っています。平成26年度は、フィリピン、モンゴルなどから10名を受け入れています。



MUFG従業員との交流会

^{*}昭和44年設立の国際NGO(非政府組織)。主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開しています。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
『いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい』
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

平成27年3月発行
本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

